

大草谷津田いきものの里 自然観察会

谷津田でアート

佐藤一枝 (千葉市)

日 時：11月6日（日）10：30～12：00

参加者：大人13名 子ども12名 計25名

担当指導員：川北紀子 佐藤一枝

大草谷津田の駐車場のドウダンツツジの葉も紅葉し、真っ赤に輝き、美しい。オオカマキリが日差しを楽しむようにゆっくりと体を動かしていた。

アート材料はマツボッククリやドングリ、押し葉、赤い実などを集めて用意した。林縁には幾つかの作品を飾り、参加者を迎えるました。

マツボッククリのワイヤーのかけ方の説明をし、ワイヤーの先は尖って危ないので内側に巻き折っておくなど、注意をお願いし、作業開始。

リース作りは、お母さんが中心になり、クズ・アケビ・ムベなどを丸めて作ったリースの土台にドングリやマツボッククリ、赤い実をあしらって、接着材と奮闘しながらも素敵なリースができあがりました。子どもたちは、色画用紙に落ち葉を並べてカードづくりを楽しんでいました。時々見渡すと2～3歳の幼児には糊付けが困難で指導員がお手伝いし、コーティングしてあげていました。できあがったカードに大満足です。

ツルを取っててくれたので、リースの土台の輪をつくってみました。そして残った太い部分を利用して、笊の底の編み方をしていると、時々覗きに来ます。来た人と作り方のポイントなど、会話を楽しみながら仕上げました。そしてマツボッククリを飾りました。日差しが柔らかく、ブルーシートのアトリエでの作業は気持ちよく、時間があつという間に過ぎていきました。掃き集めた落ち葉のオブジェは、気がついたら可愛い2人のお客様の座布団になっていました。アキアカネやバッタを見せてくれました。

支柱やベンチに作品が並ぶと、なんとにぎやかで明るい斜面に変身!!
そして観賞しあいました。やっぱり自分リースが一番素敵！ なんて・・・リースづくり“楽しかった”の声が聞かれました。生き物は勿論放して、“大草に持ち込まない。持ち出さない”約束のもとにきれいに片づけて終わりになりました。作品を大事に嬉しそうに持ち帰りました。

材料を提供して下さった指導員さん、ありがとうございました。

